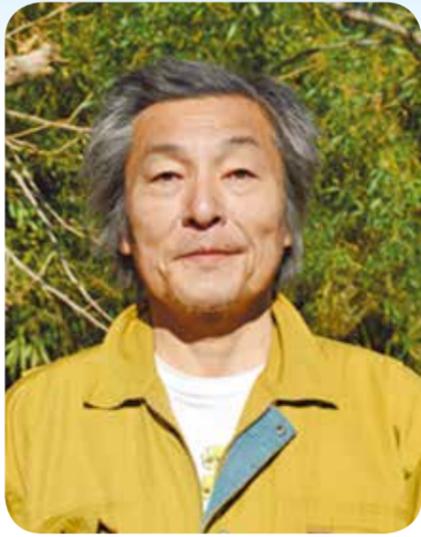


地域おこし協力隊の活動紹介

岡 SDGs移住定住推進課 (内線4224)

地域おこし協力隊とは三大都市圏などに住む人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、将来的には石巻市への定住・定着を図る国の事業です。市では21人を委嘱し、任期終了した15人のうち、11人が市内での就労または定住につながっています。ここでは、各隊員の活動内容などを紹介します。



令和5年7月1日から地域おこし協力隊として活動し、現在3年目になります。当初、網地島にあるお試し移住施設「マルホンハウス」の管理運営を行っていましたが、建物の老朽化などの理由から令和6年度で施設利用が終了となりました。そのため令和7年度からは、古民家をリノベーションしながら観光客が気軽に訪れることができる休憩所を開設しました。

潮風トレイル目的で島に来た外国人がふらりと立ち寄ってくれるなど、既に来客があります。島民の方も気兼ねなく利用できる場所に、島民と観光客のコミュニケーションの場にするのが目標です。



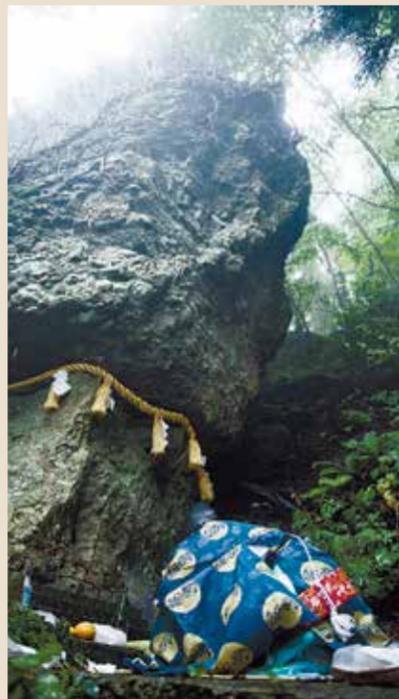
■隊員プロフィール

氏名 鈴木 康文 任期 令和5年7月1日～(最大3年間) 出身 東京都文京区(転出元:東京都文京区) 前職 フリーライター

■主な活動内容 網地島の離島振興 ■隊員になったきっかけ 父が所有している物件が網地島にあり、元々島へ定期的に足を運んでいた縁から。

石巻の隠れた名所

いしみねやまいその 石峰山石神社



雄勝町石峰山(標高352m)の山頂にある石神社は社殿がなく、大岩(高さ7m幅3m烏帽子形)を御神体としており全山が神領として崇拝されてきました。

社伝によれば約1800年前の創祀とされ、海の交通安全を守る女神である湍津姫命(たぎつひめのみこと)が祀られています。春・秋の例祭では神職や氏子の方々が御神体のある山頂まで登山し、古式のままで祭祀が行われています。

参道の入口は大浜地区にある葉山神社の横にあり、40分ほど登ると御神体に着きます。古くは山岳修験者の霊場でもあった参道には数々の伝説の地が残されており神聖な気持ちになります。

一般の方でも参拝することができますが、参道は舗装されてなく険しい道もあるので、ある程度しっかりした装備で参拝することをお勧めします。

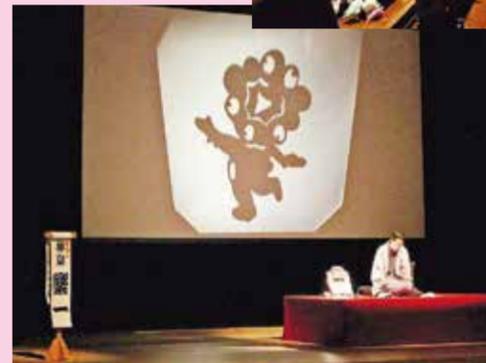


石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより 第54号

こんにちは、桜坂高等学校です。5月21日にマルホンまきあーとテラスにて行われた芸術鑑賞会の様子を紹介します。

今年度の演目は、「鈴々舎馬蹄の江戸のにぎわい」で、普段の高校生活では触れる機会に限られる芸術に実際に触れることで、芸術の楽しさや奥深さを知る機会となりました。



林家楽一さんによる切り絵では、生徒たちのリクエストに応じてもらい作品を披露していただきました。この写真は、大阪・関西万博で話題の「ミyakミyak」です。驚きのクオリティで会場は盛り上がりました。

感謝の気持ちを込め、代表生徒による花束贈呈です。落語に触れ、楽しい時間を過ごすことができました。

